

IV かわってきた^{にしあいづまち}西会津町

(1) 学校のうつりかわり

わたしたちの学校は、いつできたのでしょうか。学校には^{えんかくし}沿革誌とい
って、学校の^{れきし}歴史を書いた^{ちようぼ}帳簿があります。学校の沿革誌をみると、
わたしたちの学校がいつ、どこに、どのようにしてできたか、どのよ
うにかわってきたかがわかります。

西会津町には、これまでに屋敷小学校や黒沢小学校のように児童数
がへって^{へい}閉校になった学校もあれば、今後、統合中学校のようにこれ
から新たな^{れきし}歴史を歩み始める学校もあります。ここでは、野沢小学校
のことを例にして学校のうつりかわりを調べました。

野沢小学校のうつりかわり

明治のころの学校

野沢小学校は1873年（明治6年）に、^{はらまち}原町の^{わたなべけいじたく}渡部馨治宅をかりて
学校にしたのがはじまりです。そのあと、1877年（明治10年）に今
の野沢小学校のある^{ごうぐらあと}郷倉跡に学校を^{うつ}移しました。写真をよくみると、
^{どぞう}土蔵の^{こうしゃ}校舎であることがわかります。^{やね}屋根はかやぶき、戸はしょうじ
戸で^{べんきよう}たたみにすわって勉強しました。その後、1902年（明治35年）
には、^{もくぞう}木造の^{かいだ}2階建てのりっぱな校舎ができました。



▲郷倉の校舎



▲明治35年3月の卒業生